

## 少数台数のリコール届出の公表について（平成18年9月分）

リコール対象が少数である100台未満の届出について、平成18年9月は下記のとおり10件の届出がありましたので、公表します。

## 1. 届出者：三菱重工業株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
9月5日	1721	車名：三菱 型式：F13F 他 通称名：三菱フォークリフト	12	平成15年10月28日～ 平成17年8月12日
不具合の部位等	LPG車において、LPGタンク装着用ブラケットの取付位置が不適切なため、LPGタンク又はブラケットがカウンタウエイト外周部より突出し最外側となっているものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、作業時等に他の物と接触し、最悪の場合、LPGタンクに損傷を与えるおそれがある。			

## 2. 届出者：日産自動車株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
9月14日	1736	車名：ニッサン 型式：UA-AK12 他 通称名：マーチ	12	平成14年2月27日～ 平成14年3月6日
不具合の部位等	かじ取り装置のステアリングギヤにおいて、製造工程でピニオンシャフトのベアリングが組みつけられていないものがある。そのため、ピニオンシャフトが確実に保持されず、最悪の場合、ピニオンシャフトが抜けて、操舵が出来なくなるおそれがある。			

## 3. 届出者：三菱農機株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
9月19日	1723	車名：三菱 型式：GCR160 他 通称名：GCR160 他	80	平成15年4月23日～ 平成17年7月6日
不具合の部位等	動力伝達装置において、走行モータに油圧供給パイプを取り付ける際の組み付け方法が不適切なため、連結部でオイルが洩れるものがある。そのため、そのまま使用を続けると、オイルが減少し、最悪の場合走行できなくなるおそれがある。			

## 4. 届出者：ドゥカティジャパン株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸入期間
9月19日	外1342	車名：ドゥカティ 型式：ZDMS302AA5B 他 通称名：ST3 他	28	平成17年12月21日～ 平成18年5月8日
不具合の部位等	1. 燃料ポンプ用電気配線の取り回しが不適切なため、排気管に接触するものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、被覆が溶損して短絡し、最悪の場合、原動機が停止し、再始動できなくなるおそれがある。 2. フライホイール取付ナットの締め付けトルクが不足しているものがあり、当該ナットが緩むことがある。そのため、そのまま使用を続けると、ナットが外れ、フライホイールがステータコイルに干渉してフライホイールが割れ、最悪の場合、走行中原動機が停止するおそれがある。			

## 5. 届出者：ドゥカティジャパン株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
9月19日	外1343	車 名：ドゥカティ 型 式：ZDMM416AA6B 他 通称名：モンスター S2R 1000 他	48	平成18年 6月20日～ 平成18年 7月18日
不具合の部位等	エンジンオイルポンプユニット取付ねじの締め付けトルクが不足しているため、オイルポンプの合わせ面からオイルが洩れるものがある。そのため、そのまま使用を続けると、油圧が減少して原動機が潤滑不良となり、最悪の場合、原動機が停止し、再始動不能になるおそれがある。			

## 6. 届出者：住友ナコマテリアルハンドリング株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製 作 期 間
9月20日	1725	車 名：SN 型 式：SB-D3H 他 通称名：FD30PX 他	18	平成18年 3月17日～ 平成18年 9月15日
不具合の部位等	タイヤ及びホイール側面とリヤアクスルとの隙間が不足しているため、かじ取装置を最大切れ角まで操作した場合、タイヤ及びホイール側面とリヤアクスルが干渉するものがある。そのため、そのまま使用を続けると、タイヤが損傷し、最悪の場合、バーストするおそれがある。			

## 7. 届出者：日産自動車株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製 作 期 間
9月21日	1731	車 名：ニッサン 型 式：TC-SH2F23 他 通称名：アトラス 他	99	平成18年 3月21日～ 平成18年 4月 5日
不具合の部位等	製作工程で変速機支持用メンバーを車枠に固定する締結ボルトが規定の締め付けトルクで締め付けられていないものがある。そのため、そのまま使用を続けると、振動等によりボルトに緩みが生じ、最悪の場合、締結されているナットが脱落するおそれがある。			

## 8. 届出者：株式会社小松製作所

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製 作 期 間
9月26日	1734	車 名：コマツ 型 式：HV3000 通称名：HV3000-1	14	平成12年 7月13日～ 平成17年10月 7日
不具合の部位等	<ol style="list-style-type: none"> <li>燃料タンクにおいて、設計図の誤記により、燃料の戻りホースと供給ホースが逆に取付けられている。また、燃料の戻り配管の固定方法が不適切なため、車両の振動により、取付け部に亀裂が発生することがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、亀裂部位から空気を吸込み原動機に燃料が供給されず、最悪の場合、原動機が停止する、あるいは始動できなくなるおそれがある。</li> <li>燃料タンクの板厚が製作過程で不適切に変更されたため、燃料タンクの強度が不足しているものがある。そのため、そのまま使用を続けると、亀裂が発生し、最悪の場合、燃料が漏れるおそれがある。</li> </ol>			

9. 届出者：日産ディーゼル株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
9月26日	1737	車名：ニッサンディーゼル 型式：ADG-RA273KAN	54	平成18年 2月13日～ 平成18年 3月 6日
不具合の部位等	大型路線ノンステップバスのグライドスライド式前扉の開閉用のガイドローラブラケットにおいて、支柱と固定ブラケットの溶接方法が不適切なため、強度が不足しているものがある。そのため、そのまま使用を続けると、当該ブラケットの溶接が剥がれ、最悪の場合、扉の開閉が出来なくなるおそれがある。			

10. 届出者：トリアンフジャパン株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
9月27日	外1344	車名：トリアンフ 型式：SMTTE585 他 通称名：スピードトリプル 1050	41	平成18年 1月 9日～ 平成18年 3月16日
不具合の部位等	リヤブレーキのキャリパー固定ブラケットの位置決めピンの材質が不適切なため、制動時に当該ピンへ荷重がかかると、亀裂が生じることがある。そのため、ピンに繰り返し荷重がかかり、亀裂が進行して破断し、制動時にブレーキキャリパーがブレーキディスクと共回りし、ブレーキホースがリヤタイヤに巻き込まれ、最悪の場合、タイヤがロックし転倒するおそれがある。			

[参考]

平成18年9月の リコール届出総件 数(※)		内 訳	
		対象台数100台以上	対象台数100台未満
国産車	18件	11件	7件
輸入車	4件	1件	3件
計	22件	12件	10件

※対象台数の追加の届出については届出総件数に含みません。

(問い合わせ先)

国土交通省自動車交通局技術安全部審査課  
リコール対策室 傳田  
電話 03-5253-8111(代表)(内線42352・42355)